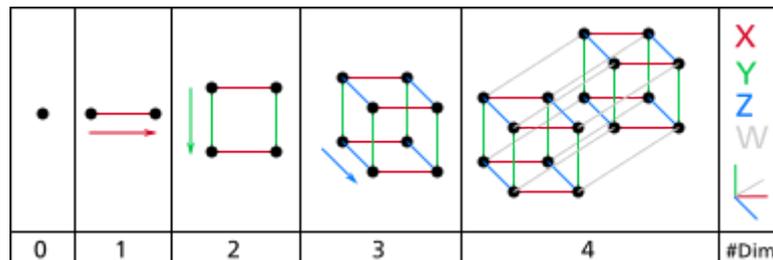


---

## 潜在意識と次元

次元というと、私たちは3次元で生きていると思っている方も多いのだと思います。

1. 0次元は点のみの世界
2. 1次元は点をつないで線の世界になります。
3. 2次元は線をつないで平面の世界になります。
4. 3次元は平面をつないで立体の世界になります。



ウキペディアより

4次元以降は「見えない世界」とされていて4次元が立体と時間と「感情」の世界で、5次元は「感性」の世界ともいわれています。

ここで、あれ？と思った方がいらっしゃると思いますが、本来なら時間は次元ではないはずなのです。

ですが、物理では時間を4次元としても扱うことがあり、3次元以外の「目に見えない世界」のことを5次元ともいったりします。

そして、宗教的な背景からすると、4次元は時間と空間でできた物理的空間の「自力」ともいい、5次元は時空間に制限されない自由創造意思で「他力」といったりもし、次元という概念は各宗教や民族、学問によっても曖昧であることをお伝えしておきます。

---

## 仏教の「自力」「他力」の意味

「自力」というのは読んでそのものを指していますが、ここでいう「他力」というのは、他者の力で叶えられるということではありません。

ではなぜ、他力というのでしょうか。

これはまさに「潜在的に隠されていたものや力」を指しています。

そして、師である方の力、仲間たちの力、専門家の力、目に見えない高次なもの（神様や仏様、龍や蛇など神の使い）の力などを感じながら、成功へと進むから、他力という訳なのです。

ということはつまり、誰かに導いてもらわなければ他力の恩恵は受けられないということにもなります。

また、潜在意識という観点からすると、実はそういうものについても鏡の法則であり「自分＝他人」なので、結局はどこまでもが自分であるという概念ともいえるのです。

